

シリーズ

2013年春季連続セミナー

「持続可能な社会保障制度をめざして」

2012年版の「厚生労働白書」では、これまでの少子・高齢化に加えて単身世帯化が進み、これまでの「胴上げ」型から、いまの「騎馬戦」型そして将来は「肩車」型の社会に移行するため、この国の社会保障を支える仕組みが変わらなければならないと述べています。社会保障の仕組みを含め行き詰まったこの国を変えるのは、私たち一人一人の市民です。英雄の登場を待っていてもこの国の社会変革は望めません。3回連続のセミナーを通じて、「税と社会保障の一体改革」構想を含め、実現可能な社会保障制度について考えてみたいと思います。

第1回



日時 3月23日(土)午後6時15分～8時15分

テーマ 「社会保障を支える公務員のやる気を引き出すために」

講師 太田 肇(おおた はじめ)
同志社大学政策学部教授

財源の確保はともかく社会保障制度を支えているのは公務員です。雇用、年金、医療、社会福祉の何れも窓口対応で相談者の運命が変わりかねません。かといって公務員をなじっても始まりません。社会保障の存立基盤を人材育成の面から考えてみたいと思います。

第2回



日時 4月6日(土)午後6時15分～8時15分

テーマ 「若者にとっての年金制度のあり方を考える」

講師 柴田 悠(しばた はるか)
同志社大学政策学部任期付准教授

年金制度が給付と負担の関係から世代間格差として論じられますが、そこに内在する課題として賦課方式や女性の非就労が指摘されています。若き研究者が社会学の立場から現行の年金制度改革について論じます。

第3回



日時 4月20日(土)午後6時15分～8時15分

テーマ 「成熟社会における社会保障制度:お金の分配と雇用の視点から」

講師 小野 善康(おの よしやす)
大阪大学社会経済研究所教授

デフレを解消し、新たな雇用を創出しないままに現行の社会保障制度を維持することは危ぶまれます。お金を配ることしか考えない現行制度のあり方を考え直し、働きたい者に働く場を与えながら、国民の生活を豊かにする社会保障制度を考えます。

会場 ひとまち交流館京都 TEL/075-354-8719 京都市下京区河原町5条下る 東側

参加費 1,000円(但し、正会員で複数口数の方は無料)

問合せ NPO法人あったかサポート 笹尾達朗 TEL.075-352-2640

申込み E-mail/attaka-support@r6.dion.ne.jp FAX/075-352-2646